

## 人権集会

人権とは、だれもが安心して、自分らしく生きるために持っている、とても大切な権利のことです。しかし、日々の生活では、何気ないひとことや小さな行動が、相手を傷つけたり、不安にさせたりすることがあります。

メジャーリーグで活躍する 大谷翔平選手 は、次のように語っています。

「人に優しくできるかどうかは、その人の強さ。」

大谷選手は、どんなに厳しい環境にいても、チームメイトやファン、周りの人への気遣いを忘れない選手として知られています。

ある試合で、相手チームの選手がベースを回っていて転倒しました。それを見た大谷選手は、選手に駆け寄り選手が起き上がるまで側で支え、無事を確認して自分のポジションにもどことが話題になりました。相手は敵チームだけれど大谷にとっては、「同じスポーツをする仲間」勝ち負けよりもその人の安全を優先した姿勢が多くのファンの心に残りました。彼の言葉には、「優しさは弱さでも甘さでもなく、むしろ人としての強さそのものだ」という強い想いが込められています。

学校生活でも、相手の気持ちを考え、行動できる人は本当に強い人です。

からかったり、無視したりする人は心の弱い人です。

相手の立場に立ち、「これを言われたらどう思うだろう」と想像できる人こそ、本当の意味で周りから信頼される人です。

「ありがとう」とか「大丈夫」などさりげない言葉が人を勇気づけたり支えたりすることができます。それらは小さな行動ですが、相手にとっては大きな影響になることがあります。

人権週間は、特別なことをする期間ではありません。

毎日の自分の言葉や行動が、友達を安心させているかどうかを少し振り返る時間です。その積み重ねが、学校全体の雰囲気をあたたかくし、誰もが過ごしやすい場所をつくっていきます。

どうかこの人権週間の取り組みを、「相手を思いやることは強さである」という大谷選手の言葉を胸に、自分の行動を見つめ直すきっかけにしてほしいと思います。